

要望事項	要望内容	回答
I 輸送力増強		
1 輸送計画の改善		
(1) 南武線の増発、車両の増結、快速運転	南武線については、平成23年3月のダイヤ改正で、デertimeの快速列車が新設されたところですが、南武線は川崎市を縦貫し、川崎市民にとって最も重要な交通機関でありますので、①立川行き最終電車の繰下げ、②増発・車両の増結(8両編成化)、③快速運転の朝・夕の導入等、利用者の利便性の向上と輸送力増強に向けた取組を引き続き推進されますよう要望いたします。	① 最終電車につきましては、お客さまのご利用状況や夜間の線路等の保守作業時間など考慮しつつ設定しております。最終電車の繰り下げについては、現在は予定しておりませんが、お客さまのご利用状況を見極めつつ検討して参りたいと考えております。 ② 列車編成増強については、ホームの前後に踏切道のある駅が多い事や車両基地の拡張など、設備の大幅な改良に伴う設備投資が必要であります。特に踏切については当社単独で実現することは困難であるため、関係自治体と連携し、検討を進めていきたいと考えております。また、増発については、お客さまのご利用状況を見極めつつ検討して参りたいと考えております。 ③ 平成27年3月ダイヤ改正において、快速運転区間を川崎～稲城長沼間から川崎～立川間に延長いたしました。なお、朝・夕通勤時間帯の快速運転については、多くのお客さまの乗車チャンスを確保するという観点から現時点での実施は予定しておりません。 なお、南武線に平成26年7月頃から順次投入している新型E233系車両は、移動等の円滑化に配慮した車両として製作し、拡幅車両となっておりますので混雑緩和が見込まれます。
(2) 南武支線の増発	臨海部では、新たな企業立地等が進んでおり、今後も従業員の増加が見込まれているため、南武支線は、川崎臨海部への通勤者にとって重要な交通機関となってきます。また、沿線地域では、大規模工場跡地等に大規模住宅施設が建設され、多くの沿線住民、学生等にとって重要な交通機関となっておりますので、南武支線を増発されるよう要望いたします。	南武支線は、新駅の検討を開始したこともあり、増発についても引き続き検討して参ります。
(3) 鶴見線のダイヤ改善等	鶴見線は、沿線の通勤・通学者や住民にとって大切な交通手段ですが、平成21年3月のダイヤ改正により、支線を中心に日中大幅に減便され、立地企業から大変不便であるとの声が寄せられています。 ついては、ラッシュ時の輸送力を確保するとともに、減便された区間について、ダイヤ改正前の運転本数を確保されるよう要望いたします。	鶴見線は、沿線に企業や工場が多く立地している環境であり、周辺企業等への通勤のお客さまが多いことから、朝夕の通勤輸送を主眼とした輸送体系としております。 今後については、沿線に立地している企業等の動向に大きく影響されることもあり、ご利用状況を考慮しつつ輸送体系を構築していく考えであります。
(4) 南武支線の川崎駅への乗入れ	南武支線は川崎臨海部への通勤者にとって重要な交通機関であるとともに、沿線地域に建設された大規模住宅施設には、東京都心や横浜方面へ通勤する住民が多く、路線バスや自転車によって、川崎駅にアクセスする交通が非常に多くなっています。 ついては、通勤経路に多く使用される路線が停車する川崎駅へ乗り入れられるよう要望いたします。	南武支線の川崎乗入れは、新規設備を多く要する他、南武線列車の運行本数確保に影響が出ること、及び需要見込み等が不透明であることから現時点では困難ではありますが、関係自治体と連携し、検討を進めて参りたいと考えております。

要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上		
1 駅施設等の整備		
(1) 矢向駅の改札機の増設	矢向駅周辺では、近年、従前にあった事業所から新たに都市型住宅や研究施設等へと土地利用転換が進んだことに伴い、当駅乗降客数は平成16年度まで緩やかな減少を続けておりましたが、平成17年度は大きく増加に転じてから、その後は増加傾向であり、朝のラッシュ時における改札口は非常に混雑しておりますので、改札機を増設されるよう要望いたします。	自動改札機の台数につきましては、引き続きお客さまのご利用状況やお客さまの声を参考に必要な見直しを随時行って参ります。
(2) 武蔵小杉駅下りホームの混雑対策	武蔵小杉駅については、朝夕のラッシュ時の下りホームは、歩列を4列にしても、なお混雑が解消されておらず、ホームからの転落等も起こりうる状況と見受けられます。安全性の確保の点から、適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。	武蔵小杉駅の周辺開発によるご利用状況の変化は当社も把握しており、今後のホーム上の混雑緩和対策については、引続き関係自治体と連携し、協力・検討して参りたいと考えております。
(3) 武蔵中原駅の混雑対策	ラッシュ時の改札口は、改札口へ向かう利用者と、改札口を出て連絡歩道橋へ向かう利用者が交錯し、混雑している状況です。 ついては、ラッシュ時の改札口付近の歩行者動線が交錯しないよう、適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。	駅構内の混雑解消につきましては、今後継続してお客さまの流動把握に努めながら、改善の必要性について検討していく課題と考えております。また、改札ラチ外の歩行者の流動につきましては、関係自治体等ともご相談しながら改善に努めて参りたいと考えております。
(4) 武蔵溝ノ口駅における安全性の確保	武蔵溝ノ口駅は、コンコースから上りホームまでの通路及び階段の幅員が狭く、朝のラッシュ時には階段を昇降する乗客で著しく混雑している状況となっております。 貴社のご尽力により、平成16年7月より上りホームが延伸され、このような状況が一部緩和されましたが、引き続き利用者の安全性確保と移動の利便性向上のため、上りホームの階段拡幅等の安全対策を実施されるよう要望いたします。	武蔵溝ノ口駅は、平成16年7月に川崎方の上りホームを延伸したことで川崎方階段の利用者が増加し、立川方階段付近の旅客流動がスムーズになり、全体的な混雑緩和が図られましたが、今後も引続きお客さまのご利用状況を把握しながら、駅の改善に努めて参ります。
(5) 津田山駅ホームの屋根の増設等	津田山駅はホーム屋根が短いため、雨天時の乗降において足元が滑りやすい状況であり、利用者は不便を感じております。ついては、ホーム全体を覆うように屋根を増設されるよう要望いたします。	津田山駅については、関係自治体のご協力をいただき駅改良(自由通路・橋上駅舎化)を進めております。ホーム上家については、この事業に合わせて整備を進めていく予定です。

要望事項	要望内容	回答
(6) 鶴見駅の混雑対策	<p>鶴見線鶴見駅については、ラッシュ時のホームは乗客であふれ、著しく混雑している状態となっております。</p> <p>列車と乗客との接触事故も懸念されることから、安全性の確保の点からも、京浜東北線ホームも含めて駅全体の適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。</p>	<p>鶴見線については、平成22年3月ダイヤ改正で鶴見駅の着発ホームの見直しを行ない混雑緩和を図っておりますが、今後継続してお客さまの流動把握に努めながら、改善の必要性について検討していく課題と考えております。</p>
(7) 老朽駅舎等の改良	<p>バリアフリー化等の施設改善にあわせ、老朽施設の更新や利用者の利便性向上の観点から、駅舎、跨線橋、トイレ等の駅施設の改良を早急に実施されるよう要望いたします。</p> <p>また、車いすやベビーカー利用者等が容易に利用できる拡幅改札口の増設と、鶴見線のトイレが無い駅についてのトイレ設置を要望いたします。</p>	<p>南武線の駅施設については、他線区と同様に順次老朽設備の改良を計画的に行っているところであり、今後もお客さまのご利用状況を勘案しつつ改善に努めて参ります。平成23年度は平間駅に多機能トイレの整備を実施し、平成25年度には武蔵新城駅のトイレの改良を実施いたしました。</p> <p>拡幅改札口については、現在当支社管内では武蔵小杉駅、登戸駅他16駅に設置しております。今後も駅設備の改良に合わせて順次整備を進めたいと考えております。</p> <p>鶴見線の駅トイレについては、施設へのいたづらや放火の防止、また密閉空間となる個室ブース内でのお客さまの安全確保などに課題が多いことから、社員の目の行き届かない無人駅にはトイレを新たに設置しないこととしております。なお、当社といたしましては、自治体等による公衆トイレ設置に際しての当社用地貸し付け等の協力をさせていただいている事例もございますので、要望がございましたら調整させていただきます。</p>
(8) 改札口の新設	<p>南武線については、改札口が片側にしかない駅がありますが、利用者は駅の横にある踏切を横断しなくてはならず、大変不便でかつ著しく混雑している状況となっております。</p> <p>利用者の安全性確保と利便性向上のため、向河原駅西側、平間駅西側に改札口を新設されるよう要望いたします。</p> <p>南武線駅アクセス向上方策案の対象駅については、整備されるまでの間は、次の位置に改札口を新設されるよう要望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久地駅南側、宿河原駅北側、中野島駅北側 	<p>改札口の新設については、駅前広場等のアクセス施設も必要と考えます。これらの施設整備は、まちづくり事業として行うことが必要であるため、関係自治体と連携し、検討を進めていきたいと考えております。</p>
(9) 中野島駅ホームの改良	<p>中野島駅は乗降客数が近年増加傾向にありますが、ホームが大変狭く、混雑時には大勢の人であふれて著しく混雑している状況となっております。</p> <p>については、利用者の安全性確保の観点から、改札口付近の滞留スペースや下りホームの一部を拡幅されるよう要望いたします。</p>	<p>ホーム幅員等の拡幅については、駅構内全体に係わる大規模な改良工事が必要です。お客さまの動向や駅周辺の開発構想に合わせ、ホーム上の混雑状況を見極めながら検討していく事柄と考えております。また、関係自治体の「駅周辺の街づくり事業」と連携し、検討していきたいと考えております。</p>